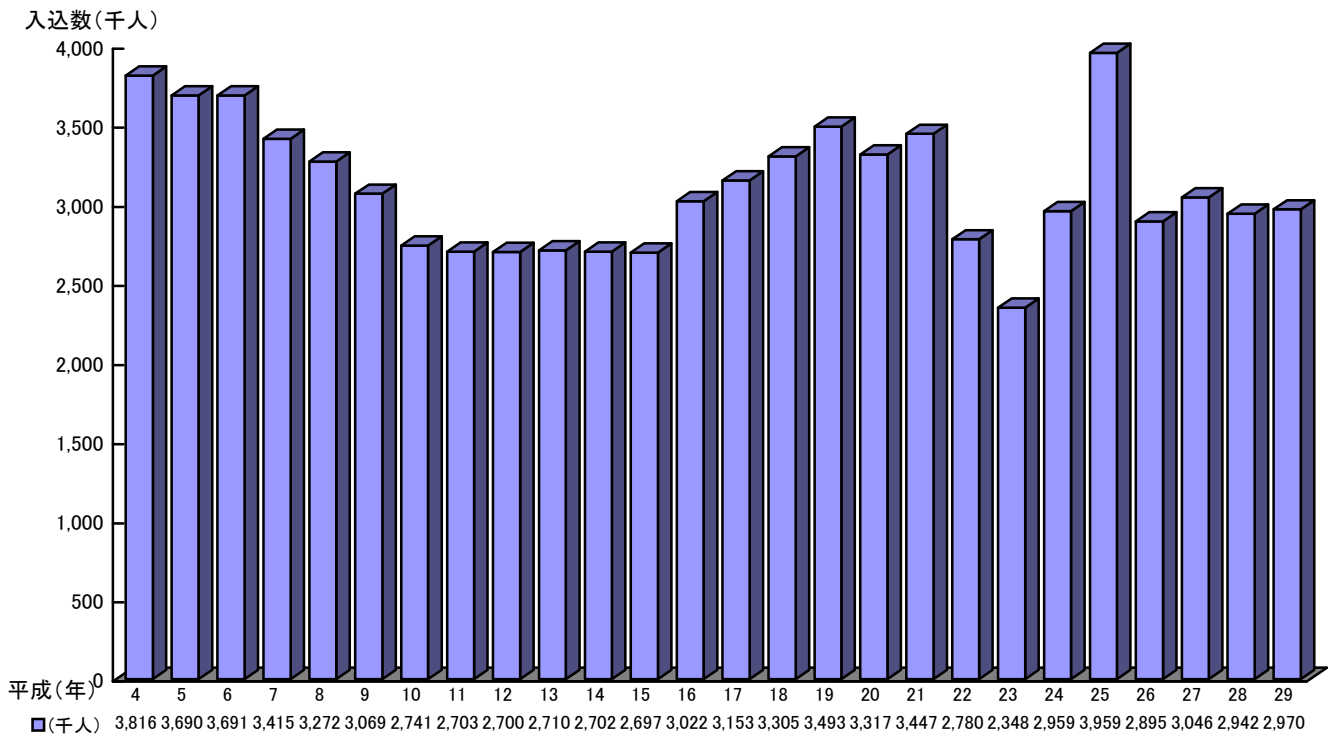


平成 29 年会津若松市観光客入込みの概況について



平成 29 年に会津若松市を訪れた観光客の総数は 2,970 千人と、前年比 28 千人の増(対前年比 101.0%)となりました。

前年と比較して微増となりましたが、震災前(平成 20 年 3,317 千人)と比較すると依然 89.5%にとどまっております。

東山・芦ノ牧両温泉利用者及び市内旅館・ホテルの宿泊合計数についても、前年比約 1 千人増(対前年比 100.1%)となっております。

また、インバウンド(訪日外国人旅行)につきましては、平成 29 年の「V」案内所外国人利用者数が 11,241 人と、前年比 2,870 人の減少(対前年比 79.7%)となりましたが、一方で、東山・芦ノ牧両温泉及び市内旅館・ホテルの宿泊合計数は 11,757 人と、前年比 3,342 人の増加(対前年比 139.7%)となりました。国・地域別では、台湾からの来訪者がもっとも多く、中国やタイ、アメリカなどからの来訪者も増加傾向にあります。

教育旅行における県外来訪校数については、平成 29 年度 639 校、前年度比 51 校の増加となっており、震災前(平成 22 年度 841 校)と比較して、約 76%まで回復したところです。

平成 30 年は、会津における戊辰戦争から 150 周年を迎えます。本市では、この節目の年を、先人顕彰と歴史の再認識を図る貴重な機会と捉え、記念式典や特別映像の配信をはじめとする様々な記念事業を展開し、さらなる観光誘客につなげてまいりたいと存じます。